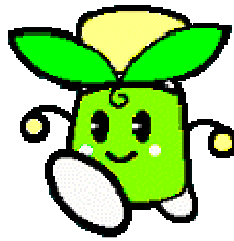


稚桜 (わかざくら)

～南中校長室より～

平成 29 年度 NO. 12

平成 30 年 2 月 1 日



Be Proud Of Us

寒い日が続きます。インフルエンザ、風邪の季節です。うがい手洗いの励行、十分な睡眠と栄養等、健康管理をお願いします。特に、3年生は間もなく、県内私学・県外私学・特色選抜の入学試験に挑むこととなります。実力を発揮するためにも当日、万全の体調で挑めるように、ご家庭でも指導をお願いします。

「産まれてきてくれてありがとう」 第一回 P H P 作文甲子園 最優秀賞

「オギャー」

分娩室は静寂に包まれた。いつもはフロア全体に響く産声がすすり泣きが変わっていった。

今から三年ほど前、私は母が勤めている病院の周産期医療センターを訪ねた。

そのとき初めて、死産を見た。お産自体は見なかったものの、動かない小さな赤ちゃんを、開かれた分娩室の扉から見つめていた。

フロアでは助産師さんがせわしく行き来していた。分娩室からは赤ちゃんの産声ではなく、息を殺して泣いている母親と、手を握り締めて泣いている父親のすすり泣きが聞こえるだけだった。

血を拭き取った我が子を見て、母親は助産師に、「一度だけ抱っこをさせて欲しい」と頼んだ。そして小さな我が子を優しく抱きながら言った。

「お母さんとお父さんを選んでくれてありがとう。産れてきてくれてありがとう。元気に産んであげられなくてごめんね。ありがとう。ごめんね……」

その言葉は私の胸に響いた。「ああ、私が今こうして、自分で息をして歩いて生きていることって当たり前じゃないんだ。奇跡なんだ」。そう思えた

日常を繰り返していくうちに命の尊さやはかなさを忘れてしまっていた。そしてそれをこの家族が教えてくれたんだ、そう思った途端、堪えていた涙が溢れ出た。そして、今生きていられることにたくさん感謝した。

家に帰り、帰宅してきた母に今日あったことを話した。すると母は、

「母子ともに健康のまま出産できるのはすばらしいことだよ。なくなったお母さんや赤ちゃんを何度も見てきている。だからね、ゆいちゃんも元気に産まれてきてくれてありがとう」

そう言った。私も涙を浮かべながら何度も「産んでくれてありがとう」と言った。

私はあのときの母親の言葉が今も心に残っている。皆さんもどうか伝えてみて欲しい。

「産んでくれてありがとう」と。

阪神・淡路大震災から学ぶ(1月17日)

阪神、淡路大震災から 23 年がたちました。震災で亡くなられた方々や被災された方々、また、その後遺症と闘っておられる方々に、あらためて哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

この日には、各クラスで、担任より、防災や命の大切さについて話をしました。

政府や行政の対応の遅れが批判された一方、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、

1月17日は「防災の日」と同時に「ボランティアの日」として制定されました。支え合い、助け合い、励まし合って生きることの大切さを多くの人が実感しました。

東海地震、南海地震、東南海地震の大地震が、いつ起こりか分からない状況の中で、私達は恐れているばかりでなく、それらに対抗できる「人のつながり」を日々の生活で強固にしていかなければならないと思います。

自立心を奪う「過保護」

自分の子供の事を心配するが故、行き過ぎた子育てをしてしまう事があります。子供の成長段階の中で、自分で考えて困難に立ち向かう事や、自分の意志で行動し責任をとる事などを経験していかななくてははいけません。その成長段階で、親が必要以上に口をはさんだり、親が決断し問題を回避したりすることは、結果的に子供の成長を阻害してしまう事につながります。心配になる気持ちもわかりますが、見守るということも必要になります。まず、自主性が育つように、子供自身で考えさせ、親がアドバイスをすることにより子ども自身で成長していきます。

「あぶないからだめ」

大切なのは大人が危険を取り除くことではなく、危険との向き合い方を教えることだと思います。

親 → 「木の上に乗って見守る」のが「おや」です。

反面教師から学ぶ

人から学ぶ。その謙虚な心を持って、あらためて周囲の人間を見直してみると、全く学ぶに値しない人間など、実は一人もいないことがわかってくるはず。「会う人みなわが師匠」。これは、健康にも学歴にも恵まれなかった松下幸之助の口癖だったそうです。だれからも学ぶ謙虚さを忘れなければ、その人はそれだけでひとかどの人物になれるにちがいありません。かりに、相手が欠点だらけの嫌な人物であっても「ああなるまい」という反面教師になります。反面教師も立派な先生で、時には、それは「正」の先生よりもずっと有益なお手本となるのです。学ぶ気さえあれば、人は悪人や泥棒からも学ぶことができる柔軟な存在であるともいえましょう。一生に出会う「人」は限られています。運命の出会い。自らの幸福のために「会う人みなわが師匠」を忘れずに・・・子どもたちにも教えてあげたいと思います。

『いかに苦しいことがあっても、ヤケになるのは短慮の極みである。逆境にある人は常に「もう少しだ」と言って進むといい。やがて必ず前途に光がさしてくる』

新渡戸稲造（「武士道」の著者）

「私は苦しくなると、よくやめたくなるんです。そんなとき、あの街角まで、あの電柱まであと100メートルだけ走ろう。そう自分に言い聞かせながら走るんです」

君原健二（マラソン選手。東京オリンピック8位、メキシコオリンピック「銀」メダル、ミュンヘンオリンピック5位）

苦しさ、つらさは一生続かない。明日はきっとよくなる。前を向いて歩こう！！

考えてみてください。

後ろを見ながら歩くより、前を見ながら歩き方が、ずっと歩きやすいでしょ！！

学校カウンセラーの予定（2月）

岸田カウンセラー 2日（金）9日（金）16日（金）23日（金）

川端カウンセラー 20日（火）

～「ありがとう・・・」～

「八王子成人式プレゼントプロジェクト」2月に式典 「はれのひ」被害受け、市長も応援

オリパスホール八王子（八王子市子安町4）で2月12日、振り袖のレンタルなどを手掛ける「はれのひ」の騒動に巻き込まれた新成人を改めて祝う「八王子成人式プレゼントプロジェクト」が行われる。（八王子経済新聞）「はれのひ 八王子店」（子安町4）と突如連絡がつかなくなり、1月8日に行われた成人式に大きな影響を与えたことから動き出した同プロジェクト。トラブルに巻き込まれた地元の新成人を対象に式典を開催しようと「きものの西室」が主体となり「八王子成人式プレゼント実行委員会」が立ち上がった。同日は八王子市商店街連合会主催の「八王子あきんどまつり」などが開かれることになっているが、主催者の協力を得た上で、市や教育委員会の後援も受けイベントの開催が決まった。同プロジェクトのフェイスブックページでは「好きな振袖を着て好きなヘアメイクをして写真に残す これだけはやりましょう ささやかではありますが、式典もご用意致します」と紹介する。石森孝志八王子市長は「はれのひ」に対して「多くの新成人の気持ちを深く傷つけたことに強い怒りを感じる。会社の責任者は一刻も早く謝罪し、しっかり責任を果たしてもらいたい」とした上で、同プロジェクトについて、「ボランティアが新成人へ笑顔を届けたいという思いから『八王子成人式プレゼントプロジェクト』を立ち上げ、2月に式典が開催されるとのことで感謝申し上げる。本市が誇る高い市民力が発揮されたものであり、また織物の街として栄えた八王子の伝統文化が息づいていると実感している。本市としてもしっかりと応援していきたい」とエールを送る。

「お店が逃げました。まじ誰か助けてください」

女性は8日早朝、経験したことの一部始終をTwitterで報告した。すると、大勢の人からリプライで情報が寄せられた。中には「今から着付けに行けます」という温かい申し出もあった。また、Twitter上では他にも、着物店が「被害者はうちに来て」とも呼びかけていた。その情報を見て女性は、ある着物店にも連絡したが、残念ながら既に埋まっていたという。結局、行きつけの美容室に連絡をし、女性はヘアメイクをお願いすることができた。着物も、その美容室のスタッフが探してくれた店で、急ぎょレンタルすることができたという。その連携プレーによって、女性は午前10時からだった成人式にも、予定通り無事出席することができたという。「たくさんの人が情報をくれました。ほんとに感謝しかないです。振袖を急ぎょ貸して下さったお店の店員さんが、泣きながら『本当によかったですね』って言って下さいました。世の中、優しい人がたくさんいるんだと思いました」

キンコン西野「成人式をプレゼントします」 はれのひ被害者に呼びかける。友達も出席OK 先着150人。写真撮影会のほか、船上ディナーも

「はれのひ」の被害にあわれた方に、成人式をプレゼントしますーお笑いコンビ「キングコング」の西野亮廣さんが呼びかけている。西野さんは1月11日、公式ブログを更新。着物の販売・レンタルなどを手がける「はれのひ」が突然店を閉じ、成人式に参加できなかった人などを対象に、成人式の代わりとなるイベントを実施すると発表した。式典などは行わないが、2月4日に横浜で、着物を着ての写真撮影会とクルーザーでの船上ディナーを実施するという。西野さん自身も、船上ディナーには出席する予定だ。申し込めるのは、「はれのひ」の被害を受けた人のほか、インフルエンザや仕事などの理由で今年の成人式に参加できなかった人。着物のレンタル代やヘアメイク、写真撮影、船上ディナーの費用などが無料となる。インターネットからの申込みで、先着150人を受け付ける。友人や両親らと参加したいと考える人のために、1人につき2人まで、船上ディナーへの同伴もOKだという。プレゼントする理由について、西野さんは、「大人になる日に大人が裏切ってしまったことを、同じ大人として、とても申し訳なく、そして恥ずかしく思っています」とブログでコメント。「大人が面白くない未来は面白くないので、今回失った信用はキチンと取り戻したいと思います」などと綴った。なお、「はれのひ」の被害にあった人のために、成人式をもう一度実施しようという動きは他にもある。八王子市で呉服店を営む西室真希さんもそのひとりで、2月に式典な

どを実施予定だという。NHK ニュースによると、西室さんは、八王子市でも晴れ着を着られない新成人が相次いだことを受けて、当日、急きょ着付けのボランティアをした。改めて成人式を実施したいとする理由について、西室さんは「被害にあった子が泣き崩れる姿を見て、せっかくの成人の門出を悲しみの渦にけり落とした業者のことが、同じ呉服業界として許せず、何かしてあげたいと思いました」などと語った。

15 時間立ち往生の JR 信越線、乗客から運転士に感謝のツイート

JR 信越線で1月11日から12日にかけて、大雪のため15時間にわたり電車が立ち往生していた件で、車内に閉じ込められていた男性のツイートが反響を呼んでいます。今回のトラブルでは JR の対応について批判的な報道も多くみられましたが、ツイートでは実際に除雪や乗客対応にあたった職員の行動を目の当たりにし、「JR の方の苦労、ありがたみや頑張りをすごく身近に感じました」「本当に素晴らしい」と称賛しています。トラブルがあったのは1月11日午後7時ごろ。東光寺駅を出た普通列車が大雪のため進めなくなり、翌12日に復旧するまで、およそ15時間にわたり乗客約430人が車内に閉じ込められました。そんな中、Twitter ユーザーの“猫透け野郎”さんは12日、無事帰宅できたことを報告するとともに、「思ったことをまとめたのでぜひ見てください」とツイートを投稿しました。これまで同じようなニュースを目にするたび、「なんでもっと対応できないんだろうか」と思っていたという猫透け野郎さん。しかし実際にトラブルに遭い、応援が来るまでたった1人で乗客の対応や除雪作業にあっていた運転士の姿を見て、その考えが変わったといいます。車内と外とを必死に駆け回る運転士の苦労は、閉じ込められていた自分たちよりもはるかに大変で、「泣きたかっただろうし、帰りたいかっただろうなと思います」と猫透け野郎さん。車内放送からも疲れが伝わってくるようで、乗客の一部からは「頑張れ！ 頑張れ！」という励ましの声もあがっていたそうです。ツイートはこれまでに7万回以上リツイートされ、「感動した」「涙が出ました」など大きな反響を呼びました。なぜこのようなツイートを投稿したのか、猫透け野郎さんに詳細を聞きました。「運転手さんが一生懸命対応してくださった姿勢をはやく形にしたいなと思い、今回のようなツイートをしました。帰ってきてやっと落ち着いたなって感じもしましたが、あの運転手さんは大丈夫だろうかと気になったりしていました」（猫透け野郎さん）車内の様子について聞くと、最初は動揺する人もみられたものの、やがて疲れた人に席を譲り合うなど、次第に乗客同士で協力しあうようになっていったとのこと。ただ、1カ所しかないトイレを全員で共有していたため、トイレに行くだけでも10分くらいかかってしまうなど、やはり復旧を待つのは決して楽ではなかったようです。また運転士も最初はかなり動揺していましたが、そんな中でも一生懸命に対応してくれたのが印象に残ったといいます。猫透け野郎さんは「JR の方の一生懸命さや心遣いに敬意を表してお礼を言いたいです。あなた方のおかげで安心して待つことができました。本当にありがとうございました！」ともツイート。自分自身も大変な思いをしながら、真っ先に JR や運転士のことを思いやるツイート内容に、Twitter では「お客さんも運転手もよく頑張ったなと思います」「現場の声が聞けて良かった」など、多くの温かな声が寄せられていました。

死亡の陸曹長、別の隊員かばい背中に噴石

12人が死傷した草津白根山の本（もと）白根山（群馬県）の噴火で、死亡した陸上自衛隊の伊沢隆行・陸曹長（49）＝3等陸尉に特別昇任＝が、別の隊員をかばって背中に噴石が直撃したとみられることが陸自関係者への取材で明らかになった。友人は突然の訃報に落胆した様子を見せた。陸自によると、伊沢さんは23日、スキー訓練をする30人の隊員のうち、上級者グループ8人の1人として午前8時半ごろから滑降を開始。同9時50分ごろにはロープウエーで上がった山頂付近から滑り始めたが、同59分ごろに噴火が起きた。周辺に噴石が飛んできたため、コース脇の雑木林に避難したが、そこにも噴石が降り、隊員が次々とけがをした。関係者によると、伊沢さんは別の隊員をかばおうとして覆いかぶさり、背中に噴石が直撃。現場に駆け付けたスキー場の救護員らが山麓（さんろく）に下ろしたが、伊沢さんは「肺にダメージを受けた」と話したという。「いつもニコニコしていて面倒見が良く、誰からも好かれる優しい人だった。まだ信じられない」。伊沢さんと約5年前、仙台市でともに整体師を目指して学んでいた時に知り合ったという群馬県安中市

の整体師、河村哲也さん（36）は死を悼んだ。